

まちづくり市民ワークショップ《第1回分野別「文化」「安心」》ニュース

日時：平成 28 年 11 月 26 日(土)13:30～15:30

場所：加東市社公民館 2階 研修室

◆ 次 第 ◆

- 1 開会
- 2 加東市の現状等について
- 3 ワークショップ
「加東市の良いところ、良くないところ」について
- 4 今後のスケジュールについて
- 5 閉会



当日の会場の様子

第1回分野別「文化」「安心」のワークショップには、13人の市民等の皆さんに出席していただきました。

◆第1回分野別「文化」「安心」のワークショップの内容

- ワークショップに先立ち、事務局から、加東市の現状について説明を行いました。
- 加東市の現状についての説明の後、ワークショップ方式で、加東市の「文化」「安心」分野における「良いところ」「良くないところ」を考えていただきました。
- 参加者は2つのテーブルに分かれて意見をまとめ、最後にそれぞれのテーブルの意見を発表しあって、情報交換（共有）を行いました。
- このワークショップで考えていただいた結果は、次回の分野別「文化」「安心」のワークショップにおける分野別将来像（まちづくりの目標）の検討のための材料としていただきます。

◆ワークショップ

- ワークショップでは、最初に前回の振り返りと今回の取組について確認しました。
- そして、ワークショップの進め方の説明の後、「文化」「安心」分野における「良いところ」「良くないところ」を、KJ法という手法を用いて次のとおり整理していきました。
- まずは、参加者全員が「良いところ」を黄色の付箋紙に、「良くないところ」を赤い付箋紙に書き込み、模造紙に貼り込みながら、意見交流をしました。



○テーマは「文化」「安心」ですが、その枠にとらわれず、幅広く関連する「良いところ」「良くないところ」を出していただきました。

○これらの付箋紙を、同じ内容でグルーピングして、タイトル付けをすることにより、グループで話し合った「良いところ」「良くないところ」を整理しました。

○そして、発表する人を自薦、他薦で選び、別のグループに話し合った結果を報告し、意見交換を行いました。



◆ワークショップの結果発表(「文化」「安心」分野における「良いところ」「良くないところ」) A グループ

「文化」等の良いところ

- 嬉野台生涯教育センターがある
- 兵庫教育大学があり、国際交流が多いので良い
- 学校教育が充実していると思う
- 地域文化の継承が続いているので大変良いと思う
- 県の学校（高齢者、生涯教育）があるので文化が充実している様に思う
- 市内に大学がある
- 学校が多く充実している
- 文化的な習い事が多数あり、退職後の趣味として利用しやすい
- 高齢者大学などが素晴らしいと思う
- 伝統が伝えられている
- 学校教育が良い
- 学校と行政との教育連携ができている
- 図書館が充実している
- 音楽活動が充実している（吹奏楽、コーラスなど）
- 自然が多い
- 自然が豊かなため、外でのスポーツが安心してできる
- スポーツレクリエーションが充実していると思う
- ゴルフ場が多く、ゴルファーや市の財政面において良い



「文化」等の良くないところ

- 小学校統合は地域をこわす（従来は歩いて行けたが、統合後は2kmが6kmとなる）
- レクリエーションを推進されているが他市よりアピールが弱い
- 緑の破壊（太陽光発電）
- 村社会が残りすぎている



「安心」等の良いところ

- 人が温かい
- 家庭が安定している
- 高齢者施設が多い様に思うので良い
- 老健施設等が多くあり安心である
- まちかど体操教室が多くの地区で行われている
- 病院、医院、歯科医院など医療施設が多くある
- コンビニが多く便利で、高齢者や一人暮らしの方も安心である
- 挨拶ができる（子どもと大人が声をかけあうことで地域のつながり、安心とつながっている）
- 子育てサークルの数が多い
- 待機児童がゼロ
- 財政的に市は借金が少ない方である

「安心」等の良くないところ

- 市民病院の診療科目が少ない
- 障害者に対しての福祉があまり充実していない様に思う
- 総合病院が欲しい
- 将来の人への手当てが弱い
- 高齢者が多くなってくるので何よりも先に高齢者福祉を考えなければいけないと思う
- 公共交通機関が少ない
- 車社会、バスが少ない
- 水害に対して毎日心配する地域（加古川、東条川）がある
- 市のアピールが弱い
- 外から見ると「カタイ」まち
- 柔軟な小野市と比較し、市の独自色が必要である
- 行政側に独自色がない

B グループ

「文化」等の良いところ

【兵庫教育大学】

- 兵庫教育大学生が集まっており、まちづくりに活かせる
- 兵庫教育大学と小学校との交流も生まれている
- 中国、韓国等の留学生も来るので、国際化にもつながる

【高齢者大学】

- 高齢者大学があり、熱心で活発な高齢者がいる

【嬉野台生涯教育センター】

- 嬉野台生涯教育センターがあり、多様な活動が行われている

【図書館やホールなどの文化施設】

- 図書館の貸出密度 No.1
- 図書館数全国水準以上
- 図書館が多い
- 市立で4つ（大学図書館を加えると5つ）あり、それぞれ休館日が別で使いやすい
- 文化会館が多く、ホールも3つある

【スポーツ】

- 加東市民スポーツ大会で幅広い（子ども～大人）年代の人の交流が行われている

【レクリエーション、イベント】

- 「秋フェス」などのイベントにたくさんの人が関わる

【歴史自然】

- 国宝の寺（朝光寺）があり、5月5日の鬼まつりが有名

「文化」等の良くないところ

【スポーツ】

- 公共体育施設としてのプールがない

【歴史自然】

- 朝光寺本堂は国宝だが、普段は人が少ない
- 清水東条湖立杭県立自然公園があるが現状ではそれぞれのつながりが弱いのでは
- ハイキング道があればよいのに
- これらの資源のPRが不十分であり、魅力を高めるためのプラスアルファがない



「安心」等の良いところ

【市民病院】

- 市民病院の存在が大きい
- 市民病院の一層の活用を

【健康づくり】

- 健康づくりが推進されている
- まちかど体操教室など高齢者の健康・体力づくりが進められている
- まちかど体操教室は、体操（45分程）だけでなく、ゲートボールやハーモニカなどとの多様な組み合わせ（計2～3時間）があり、多様な広がりがある

【子どもの医療】

- 子どもの医療費免除の対象年齢が中学生まで

【子育て環境、子育て支援】

- 自然を生かしたレクリエーション施設がある（冒険ができる「やしろの森公園」）
- 良い施設があり、指導員（先生）もいる（きのこや野草とりなどのイベントがある）
- 子どもが遊べる公園が多い
- 播磨中央公園がある
- 児童館が多い
- 子育てネット（年2回くらい）がある
- 地域での子ども中心のイベントが多い

【レクリエーション施設】

- ぼかぼがある

【ごみ】

- 生活ゴミの分別、減量化が進んでおり、1人当たりのごみの量が少ない

【買い物便利】

- 手軽に買い物ができる施設がある

【親しみやすい人柄】

- 親しみやすい人が多い

「安心」等の良くないところ

【市民病院】

- 土日、午後診療がない
- 産科がない
- 医師不足
- 医療連携が不十分である
- 大きい病気のときは市外の病院（北播磨総合医療センターなど）へ行くが、そのために渋滞が慢性化している

【老老介護】

- 「貞守事件」の対応
- 老老介護は福祉問題として深刻だ
- 老老介護の状態であっても市に相談にも来れない人が増えているが、その実態は把握できていない

【子どもの医療等】

- まちなかの公園に日陰が少ない（夏場大変暑い）
- 子どもたちへの自転車通行教育の徹底が必要（数台並んで走っていたりする）
- 近隣（小野市では高校生まで）に比べると遅れている

【自転車】

- 自転車道の充実を



◆次回(第1回分野別ワークショップ:「安全」「快適」分野)の予定

日時: 平成28年12月1日(木)19:30～

場所: 加東市社公民館 2階 研修室

内容: 「安全」「快適」分野における加東市の良いところ、良くないところについて意見交換等を行う。

発行: まちづくり市民ワークショップ事務局（加東市協働部企画協働課）

電話 0795-43-0389

E-mail suishin@city.kato.lg.jp